

『獣の家のおもてなし』

声の出演 桔音：秋山はるる

声の出演 音子：涼貴涼

シナリオ：ツヅル

イラスト：小夏チハ

制作：オーガソフト



## ●ご注意

このシナリオ PDF ではシナリオと絶頂シーンの補足が入っています。

シナリオのみを楽しみたい方は通常のシナリオ PDF をお使い下さい。

- ・補足フォントカラー

- ・紫字：補足説明

- ・赤字：絶頂シーン（ピーク時は太字）

- ・『獣の家のおもてなし』絶頂シーン（ピーク時）

- ・4 音子

- S E 有：同時絶頂（17：28） S E 無：視聴者絶頂（17：18）

- ・5 桔音

- S E 有：視聴者絶頂（18：28） S E 無：視聴者絶頂（18：17）

## 【0 不思議な世界】

### ○『誰か』が『不思議な世界の噂』を語っている

？？？

——この世には、人智では計り知ることのできない不思議な世界が存在するという噂があります。

そこは、この世との境界があやふやだと言われています。

ふと気づけば、その世界へ迷い込んでいることがあるらしいのです。

その世界はのどかで静寂としていて、そして人や動物も存在しない場所。

迷い込めば、そこにいる『誰か』に会わないと元の世に戻ることができません。

その『誰か』は迷い人を手厚くもてなし、元の世へと戻してくれるのだと言われています。

しかし無事に帰ってきた者は、もてなされたことだけは覚えているのに、その『誰か』のことはぼんやりとしか覚えていないそうです。

それでも、もう一度その世界へと迷い込みたくなる、それほどに心地が良い場所だと言われています……。

## 【1 迷い人】

○噂の世界へと迷い込んだあなた

○雪の降る何も無い世界を彷徨い、ようやく見つけた一軒家の戸を叩く

### 音子

……？

○戸を叩く

えっ？

今、戸を叩く音がしなかった？

ねえねえしたよね？

ね？ ねっ？

### 桔音

風が戸を叩く音かもしれないわよ。

随分と長い間、お客様は来てないんだから。

### 音子

でもでも、今日は来てるかもしれないよ？

○戸を叩く

あっ！

ほら、気のせいじゃないかもよ？

### 桔音

そんなに気になるんだったら開けてみればいいじゃない。

## 音子

うんうん、そうだよね！

はいはーい！ 今開けるよー。

○入り口に向かい、戸を開く音子

わっ!? 人間だ！

やっぱり思ってたとおり人間だったよ！

すごいすごい！ 人間なんて久しぶりだよ！

今日はお祝いだね、桔音？

## 桔音

もう、音子ったら……。

それにしても、本当にお客さんだったのね。

## 音子

ね、ね、どうする桔音？

今日は何でお祝いする？

## 桔音

音子、落ち着きなさい。

こんな雪の中、ここまで辿り着いたのよ？

いつまでもそんなに寒い場所で待たせていないで、家の中に入ってもらったらどう？

## 音子

あ、そうだった！ そうだよね！

ごめんね、寒かったよね？

ほら、入って入って！

遠慮なんかいらないからね！

どうぞどうぞ！

## ○二人の姿を見て固まる

……どうしたの？

ほら、寒いでしょ？

中に入って良いよ？

### 桔音

もしかしてお客様、私たちを見て驚いているんじゃないの？

ほら、お客様と私たち、見た目が違うから。

あの……お客様？

大丈夫よ、そんなに怯えなくても。

あなたに危害を加えるつもりはないわ。

私は桔音、その子は音子。

……って言っても、お客様が知ってる狐と猫に比べると少し……いえ、だいぶ違うかも知れないわね。

尻尾も多いし、それに何より人の言葉を喋っているし……。

### 音子

あー、そっか。

そうだよねー。

お話できる狐と猫なんて、怪しいよねー？

だけどね、私たちは怪しくないんだよー？

### 桔音

怪しくない、だなんて言っても

すぐには信用してもらえないかもしれないけど……。

私たちはただ明日の朝まで、雪風をしのげる場所を提供したいだけ。

だから、ね？

怖がらないで入って来なさい？

## 音子

そうそう、そういうこと！  
なーんにも心配いらないからね～？  
戸を開け放しだと寒いよ！  
ほらほら、入って入って～！

○あなたが靴を脱いで部屋の中に入ると、嬉しそうに入り口の戸を閉める音子

## 桔音

外は寒かったでしょう。  
ほら、囲炉裏の近くに座って。  
音子？  
あなたはお風呂の準備をしててくれるかしら。

## 音子

お風呂？  
あ、そうだよね！  
暖まるにはお風呂が一番だよね！  
沸かしてくるよ！

○お風呂場へ駆けて行く音子を見送り、囲炉裏の近くに腰を下ろす。

## 桔音

もう、あの子ったら……ごめんなさいね？  
久しぶりのお客さんが嬉しいみたいで。  
上着、濡れてるでしょ？  
そのままだと風邪を引いてしまうわ。  
ほら、脱いで？

○戸惑う

……大丈夫、遠慮なんて必要ないわ。

それとも脱がして欲しい？

だったら……。

#### ○濡れた上着を脱がす桔音

……ほら、こんなに濡れてた。寒いはずよ。

もっと火の近くにおいで？

お風呂が沸くまでの間、ゆっくり体を温めて。

#### ○囲炉裏の火に少し近寄る

……あなたはとっくに気づいていると思うけど、ここはあなたの住む世界じゃないの。

ここはこの世でもあの世でもない、そこではないどこか。

ここまで歩いてきたから分かるでしょ？

この世界には人や生き物は誰もいない……私たちを除いてね。

だけどたまに、あなたみたいに紛れ込んでくるものがいる。

私たちはね、そうやって紛れ込んできた力モを食べて生きながらえているのよ。

さあ……あなたはどんな味かしら？

#### ○怯える

……うふふふふ、冗談よ。

もしかして本気でました？

大丈夫、私たちは危害を加えることはしないわ。

体を温めてあげて、お腹を満たしてあげて、束の間の交流を楽しませてもらっているのよ。

今日はもう遅いでしょ？

雪も強くなってきたし、明日の朝には元の世界に戻してあげる。

まずは冷え切った体を温めないとね。

ほら、私の手を握って？ 温かいでしょ？

氷みたいになってるわね。

脱いで火に当たった方が温まるわよ。

さあほら、脱いで？

### ○恥ずかしがる

どうしたの？

うふふつ、もしかして恥ずかしい？

大丈夫、恥ずかしがる必要なんてないわ。

あなたも分かっているでしょ？

見ての通り、私もあの子も人間じゃないわ。

耳も尻尾も気になってるんでしょ？

さっきからチラチラ見て来るんだもの、誰だって分かるわ。

もしかして作り物なんじゃないか、って思ってない？

動かして見せましょうか？

ほら……。

### ○耳や尻尾を自在に動かして見せる桔音

ふふつ、これで信じてもらえたかしら？

私と音子はあなたと違う、人でも獣でもない存在。

簡単に言えば種族が違うの。

例えばあなたは、犬の前で裸になることを恥ずかしいと思う？

そういうこと。

だから恥ずかしがる必要なんてない、そうでしょ？

だから、ね？

脱いで？

### ○上半身を脱ぐ

……上だけ？

冷え切ってるのは上だけじゃないでしょ。

下も脱ぎましょう。

恥ずかしがらないで、ほら……。

### ○下半身も脱ぐ

あらあら……寒さですっかり縮こまっちゃって。

大丈夫、尻尾で包み込んで温めてあげるからね。

初めてでしょ？

尻尾で温められるのは。

私の尻尾はふかふかで大きいから、すぐに温まるわ。

それに尻尾もたくさんあるから、一度に色んな箇所を温めてあげられるの。

だから期待してくれても良いのよ？

それじゃあ……まずは顔から始めましょうか？

……うふふ、アソコから温めてもらえると思った？

焦っちゃダメよ。うふふふ。

その冷え切った顔を尻尾で撫でてあげる。

こうやって、尻尾を前に回して、顔を埋めるようにして……。

よしよし……よしよし……。

ふ一つ……うふふ、息も温かく感じるでしょ？

ふ一つ、ふ一つ、ふう一つ……。

ほら、手を出して？

ふふ、自分でも触ってみて？

大丈夫、怖がらないで。

優しく触ったら大丈夫だから。

### ○桔音のたくさんの大好きな尻尾に手を差し込み、優しくモフモフする

……そう、その調子。もっと力を入れてみても良いわ。

## ○思いきりモフモフする

……段々遠慮がなくなってきたわね。

いいえ、それで良いのよ。

それほど私の尻尾に興味を持ってくれたってことだから。

人間には、ないものね。

大丈夫よ、もっと触ってもらって。その方が早く温まると思うわ。

……ふ……ふふつ……んふつ……つ。

触っても良いと言っても、やっぱり少しくすぐったいわね。

そろそろ首も温まりたいでしょ？

尻尾を首に巻き付けて……。

よしよし……よしよし……。

首から肩……腕も、背中も……。

あらあら、お腹もこんなに冷えちゃって。

太ももも冷えてるわね。大丈夫、温めてあげるから。

太もも……膝……つま先……。

これで全身さすってあげられたかしら？

……うふふつ、違うわよね？

まだ大事な部分をさすさすしてあげられていないわ。

大丈夫、私に任せておいて。

男の人の大事な部分なんだから、温めてあげないとね。

## ○おちんちんを包むように手を添える桔音

ほら、こんなに冷えちゃってる。私の手でしっかり温まって？

帰るまでにはしっかり温めてあげるから……。

ん……つ、ん……。

ふふつ、口の中はまだ冷たいままなのね。

だったらほら、口を開いてみて？

大丈夫、全部私に任してくれればいいから……。

ん……ああ……、……はあ。

私の舌、温かいでしょ？

やけどしそうなくらいに……。

……ん、……ふふつ。

……舌がまだ遠慮してるわよ？

恥ずかしがらないで、もっと舌を伸ばしてみて？

ん……あむ、ん、あ……、ん……ん……んつ、……ん。

……ほら、私の目、しっかり見て？

んふふ、だいぶ目がトロンってしてきたわね。

温かくなってきた証拠よ。

大事な部分も……ふふつ、さっきより熱くなってきたわ。

でもそれだけじゃない……大きくて、堅くなってきた。

んふふ、こんな不思議な世界に迷い込んだのに反応しちゃうの？

それとも、私が獣じみた体だから興奮してるの？

どっちにしても、大きくなったのは事実だから受け入れないとね。

おちんちんの勃起って、体が温まる上でとっても大事なことなのよ。

血の巡りが良くならないと、こんなに大きくならないんだから。

恥ずかしがらないで、もっとおちんちんを大きくしてみましょうか。

優しく触りながら、もっと舌を絡め合わせて……。

あ……ん、んつ……んあ……あむ、んつ。

あ、はあ……んう、んあ……あ……、はあ……んふ、んう……ん。

……さっきから、私はっかり舌を動かしてるわよ？

自分から積極的に動かさないと、温まらないわ。

ほら、動かして……？

あ……んふ、んつ……んんうつ……ん……そう、上手。

んふうつ、あ……んうつ、んふ……んんん、……つはあ、……んうう。

私の舌、ん……んつ、もっと吸ってみて？

んつ……んつ、んぐつ、んむつ、んうううつ……ん、んうつ……んあつ。

すごい、激しい……。

んつ、んつ、んつ、あつ、……んぐつ、んむうつ、ん……ふはつ……。

それじゃあ今度は、私の舌の動きに合わせてみて？

んつ、はあ……んつ、……あつ、……ふはあ……あ、んあ……。

んふ……ん、んつ、ん……ん……んは、あつ……んあ……あつ。

ん、んはあうつ、う……んつ、ん……んあう、ん……んつ、んう……ふはあつ……。

んつ、はあ……あ……つ。

んふふつ、温める目的を忘れて、つい熱中しちゃったわ。

あなた、とっても上手なのね。

それに……おちんちんもかなり大きくなってる。

うふつ、ほら……もうこんなにギンギンに堅い。

さっきまで寒くてあんなに凍えていたのに、とっても熱いの。

……あなたも期待してるんでしょ？

こんなにおちんちんを大きくさせているんだから、当然のことよね？

それじゃあ今度は、もっと気持ち良いことを……。

## 音子

桔音一！

お風呂の準備できたよー！

## 桔音

……あら、残念だったわね。

これからって時だったのに……うふふつ。

大丈夫よ、まだ夜明けまではたくさん時間があるんですもの。

まずはお風呂で、体の芯から温まりましょ？

## 【2 体の芯から温めて】

○お風呂で湯船をかき混ぜてみせる音子

### 音子

ほらほらー！

とーっても良い湯加減だよー！

### 桔音

ふふつ、この子ったら久しぶりのお客さんに張り切っちゃって。

それくらいあなたが来てくれたのが嬉しいのよ、許してあげてね。

### 音子

裸だからそのまま入れるね！

ほら入って？ ほらほらほらー！

### 桔音

もう、慌てないのよ音子？

まだ準備で足りてないものがあるでしょ？

よく考えてみて。

### 音子

足りないもの？

えーっと……う～ん…………あ、分かった！

着替えの準備ができてない！

### 桔音

そうよ、よくできました。

それじゃあ音子、お客様の着替えを取ってきててくれる？

## 音子

うん、分かった！

いってきまーす！

○あなたの着替えを取りに駆けて行く音子

## 桔音

……うふふ。あの子が着替えを取りに行っている間に、温まりましょうか。

ほら、その椅子に座って。

○椅子に座ったあなたの背中にお湯をかける桔音

んふふ……どう、温かいでしょ？

このまま背中を流しましょうか。

○着替えを持って戻ってくる音子

## 音子

桔音ー！ 着替え持ってきたよー！

もう、しばらくお客様なんて来なかつたから、着替えを探すのに手間取つたよー！

## 桔音

あら、戻ってきたのね音子。

ちょうど今から、背中を流してあげるところだったのよ。

## 音子

背中を？ 洗うの？

ふふふふ、ついにこのときが来た……！

いつも桔音の背中を流して腕を鍛えているこの私の、真の実力を見せる時が……！

## 桔音

あらあら、この子ったら意気込んじゃってるわ。

……でも、良い機会かもね。

たまには私の背中じゃなくって、お客様の背中も流してあげて。

私はその間、夕餉の支度をしておくから。

## 音子

はーいつ。

### ○台所へ向かう桔音。服を脱いでお風呂場に入る音子

ってわけでお客様、お背中お流しますよー！

かゆいところがあつたら言ってくださいね？

### ○手拭いに石鹼をつけ、背中を洗い始める音子

……どうかな？

力加減大丈夫？

### ○頷く

よーし、このまま続けていくね？

### ○あなたの身体を洗いながら語りかける音子

……ねえねえ。

君ってやっぱり他の世界から来たんだよね？

たまーにね、迷い込んでくるんだよ。

……かく言う私も、実は子猫の時に迷い込んできたんだよねー。

気づいたらね、この何もない世界に迷い込んでたの。

その時も桔音は私を保護してくれようとしたんだけど、子猫だったから私、警戒心が強くつてね。

お風呂に入れてもらったのに暴れたり、威嚇したり、逃げ出したり……今思えば最悪なことしちゃってたんだ。

だけどね、それでも桔音ってばお世話してくれるの。

まるでお母さんみたいに……って言っても、私生れてすぐにお母さんとはぐれちゃったから、お母さんってのがわかんないんだけど。

でも、そんな風に優しくお世話してもらったら、嬉しくって、ありがとうって気持ちになつたんだ。

それにね、その時思ったの。

桔音って、この世界に一人ぼっちでさみしくないのかなーって。

だからね、私その時決めたんだ。

桔音と一緒にずっと暮らせるようになろうって。

だけど普通の猫じゃ、この世界でずっととは過ごせなかつた。

どうしてもサヨナラしなくちゃいけなくなつた。

だから桔音に聞いたんだよ。

どうしたら一緒に過ごせるのって。

そしたらね、教えてくれたんだ。

猫又になつたら一緒に暮らせるって。

猫又になれたら、またこの世界に戻つてこれるって。

だから猫又になろうって決めたんだ！

だけどね大変なんだよー、猫又になるのって。

猫岳って場所知ってる？

そこで修行しないといけない上に、百歳まで長生きしないと猫又になれないんだ。

だけど桔音と一緒にいたいって気持ちだけで頑張つたんだ。

毎日毎日通つて、修行して……ようやく猫又になれた。

猫又の力を使って……人間は妖力って言ってたけど、その力を使ってまたここに戻つてこられた。

もう普通の猫じゃない。だから桔音と一緒にこの世界で暮らしていける。

百年近くもかかったけど、成し遂げられたんだよ。

それからね、ずっと一緒にいたんだ。

だからね、きっと桔音もさみしくなくなつたって思うんだ。

## 桔音

そんなことしてくれなくても、元々さみしくなかつたんだけどね。

## 音子

ふふふふつ、地獄耳だよね、桔音って。

今更恥ずかしがらなくつても良いのになあ。

### ○ふと、水滴が落ちる音が響く

……私、元の世界じゃお風呂って嫌いだった。

だけど桔音と一緒にこうやって、迷い込んできた生き物の世話をする内に、いつの間にかお風呂が好きになってたんだ。

……ねえ、気持ち良い？

温かいお風呂でゴシゴシされて、気持ち良い？

……それとも、男の人はこっちの方が嬉しいのかな？ こうやって……。

### ○胸を背中に押し当てる音子

胸で背中を洗ってあげるの。胸に泡をつけて……。

### ○胸に泡をつける音子

こうして背中にこすりつけて……。

### ○胸を使って背中をこする音子

……小さいから、あんまり感じない？

嬉しい？

#### ○あなたの股間を覗き込む音子

……あ、そうでもないみたい。

おちんちん、ビクビクって動いてる。

やっぱりこう言うの好き？

……じゃあ、こうして……。

#### ○お互いの全身に泡を広げていく音子

全身に泡をたっぷりつけて……。

こすりつけたら……。

#### ○全身を擦りつけ合う音子

ああつ、……んうつ、……んふ、ん……はあつ、……ん、どうかな？

#### ○気持ち良さそうなあなたを見る音子

……うふふふつ、これも良いみたいだね。

だったらもっと良いことしてあげたいから、湯船につかろうか。

お湯で洗い流すね？

うんしょ……。

#### ○あなたにお湯をかける音子

うふふつ。私も……。

○自分にもお湯をかけて洗い流す音子

……流し忘れないかな？

それじゃあお先に湯船にどうぞ～？

○湯船に入る

わっ、わー！　たくさんお湯が溢れだしてきた！

きみって体が大きいんだね！

これじゃあ私が入る場所ないかも……あ、そうだ！

ね、膝の上に乗っても良い？

普通の猫だった頃は、よくそうやって人間に抱っこしてもらってたんだ。

良いよね？

○湯船に足を浸ける音子

膝の上、向かい合わせに座るよ？

んっしょっと……。

○膝の上に座るように湯船に浸かる音子

ふふふふっ、おちんちんすごく熱い。

温かい湯船の中で熱いって感じるくらいだから、相当だよね。

でももっと温かくなって欲しいなあ。

君のこの大きくなったおちんちんに、私のおまんこを擦りつけたらもっと温まってもらえるかな？

こうやって……んっ……んんっ……ほら、気持ち良いでしょ？

私も気持ち良いよ……んっ……んああっ……んっ、んんううっ……ああっ。

君の気持ちよさそうなお顔見てたら、キスしたくなってきちゃった……！

顔、前に出して？

○顔を近付けるあなたにキスする音子

んつ、んんうつ……ん、んう……んつ。

んんん、んう、ん……んあ、んう……はあ……。

すごい……おちんちん、どんどん堅くなってる……！

あむんつ、んつ、んつ……んれえ……つ。

君の舌の動き、とっても気持ち良い……。

んむう、んつ、んはあつ……ああむつ、んつ……ん……んは……。

浴室だから、音が反響して、すごくエッチ……！

はあんむつんつ、んうつ、んふえつ……ん……んあつ、ああうつ。

腰、勝手に動いちゃう……。

んん、ん、むつ……。

どんどん速くなっちゃう……！

はむつ……んう、んん、んつ、……んんはあつ。

んあむんんつ、んつ……んんつ、んつ、んんつ、んんううつ……！

もっと舌、私の口の中に来て……？

私の口の中、たくさん舐めて……。

んんつ、んつ……んむあつ！

はあつ、んつ、んつ、うんつ……んあつ……ん、ふえつ……！

はつ……はあんつ……。

こんなにエッチなの、すごい……。

んううつ、んつ……んんはあつ。

こんな気分になつたりや……んつ、んんつ……シたくなっちゃうう……！

君の大きいのを、私の中に入れて欲しくなっちゃう……。

んつ、んうつ……！

んはあ……はあ……。

……良いよね……？

良いに決まってるよね……？

このまま、一緒に……。

## 桔音

二人ともー？

ご飯できわたよー？

## 音子

……うう～、残念。

これからだったのにねー、あははっ。

だけど、腹が減っては戦ができない、だよね。

お腹がいっぱいにならないと、こういうエッチなことも満足にできないよ。

それにね、桔音の料理って絶品なんだよー？

まずはしっかり食べてその後に……ね？

うん、それじゃあ上がるか。

### 【3 夕餉の後は】

○夕餉と片付けを終えてくつろぐ三人

#### 音子

……はー、お腹いっぱい！

やっぱり桔音のご飯は美味しいなー！

#### 桔音

うふふっ、音子ったら。お客様より食べてどうするのよ。

どうだったかしら、私の夕餉のお味は？

お口に合った？

○頷く

……そう、良かった。

#### 音子

あ、桔音喜んでる！

桔音ってなかなか笑わないんだけどね、見慣れてくると表情の変化が分かってくるんだよ。

もしかしたら私より、表情豊かかもしないよー？

#### 桔音

はいはい、戯れはこれくらいにしましょう。

もう夜も遅いし、食事も済んだことだし……ね？

これからどんなことをするか、分かってるわよね……？

#### 音子

もちろん分かってると思うよ、桔音？

だってお客様、すっごく期待してるみたいだし。

### 桔音

ふふふふふつ、仕方が無いわね。

それじゃあそのご期待にお応えして……。

…………明日も早いことだし寝ましょうか？

### 音子

うんうん、そうしよう！

○がっかりする

……あれ？ もしかして君、何か期待してた？

このこのお、スケベなんだからっ！

### 桔音

音子。

お客様をからかっている時間があるなら、布団を敷く手伝いをしてくれるかしら？

### 音子

はーいっ！

○押し入れを開け、楽しそうに布団を敷く二人

### 音子

おーい！

寝る準備できたよ、こっちおいで！

君はここ、私と桔音の間の布団。

特等席だよ、このこのおっ！

○二人の間の布団に向かう

### **桔音**

うふふつ、ごめんなさいね。

音子ったら、お客様が来るといつもこうやって川の字で寝たがるの。

### **音子**

あー、いつぶりの川の字だろー？

わくわくしすぎて眠れないかもっ。

### **桔音**

音子、そんなに大きな声出さないの。

お客様は疲れてるのよ？ 静かに休ませてあげて。

ほら、横になって？

この部屋少し狭いから、ちょっと密着気味だけど……。

あなたはその方が嬉しかったりする？

### **音子**

あ、今ニヤニヤってしてた？

下心見えすぎだよ、君。

### **桔音**

ほら、いつまでも騒いでいないの。

灯り消すわよ？

○あなたが横になると行灯の明かりを吹き消し、布団に入る桔音。

○布団に入るも興奮で寝付けない音子

### **音子**

ふつふーん♪ ふふふーん♪

へへへへー、今日はお客様と一緒に♪

あー、やっぱり楽しくって眠れないなあ。

## 桔音

音子、静かに。

あなたがそんなに騒いだら、私たちも眠れないじゃない。

……もっとも、お客様は元から眠れないかもしれないけど……。

## 音子

お客様が眠れない？ どういうこと？

## 桔音

だって私たち、こんなに密着してるのよ？

そんなことしたらきっと、こっちの方が元気になってくるはずよ。

そうでしょ？

## 音子

こっち？ こっちってどっち？

## 桔音

こっちって言ったらこっち。

お腹よりも下、股の付け根の部分……。

○あなたの浴衣をはだけさせ手を下へと滑らせていく桔音

うふふ……実はね、最初に手でさすって温めてあげていた時、大きくなっていたのよ。

ね、そうでしょ？ もちろん覚えてるわよね。

## 音子

へー、 なんだ？

でもね、 お風呂でも一緒だったよ？

体で洗ってあげてたら、 大きくて堅くなって……。

ねえねえ、 もしかして興奮してる？

## 桔音

お風呂でもそんなことがあったの？  
こんな場所に迷い込んできても、発情するなんて。  
よっぽどスケベなのね、あなたって。  
だけど私、そういうの嫌いじゃないわよ。

## 音子

こうやって私たちに挟まれてたらさ、やっぱり興奮しちゃうの？  
また大きくなってる？

## 桔音

音子、そんなこと聞いたら失礼でしょ。  
それに……ふふつ、大きくなるに決まってるでしょ？  
だから、二人でもっと大きくしてあげましょうか。  
体を触られるのは好き？  
音子と私で、あなたの全身をさすってあげる。  
手でさすって欲しい？  
それとも……このふさふさの尻尾？

### ○尻尾と聞いて興奮する

## 音子

あはははははっ、君って分かりやすいね。  
尻尾で全身触って欲しいんだ？  
もう、仕方ないなあ。

### ○二本の尻尾で優しくさする音子

……ほらほらっ。  
どう？ ふさふさで気持ち良いでしょ？

## 桔音

腕も、胸も、お腹も優しくさすってあげて、音子？

私は足の方を……尻尾越しにさすってあげるわ。

ほらこうして……。

### ○大きな尻尾ごと足をさする桔音

ふふつ。

ふかふかの尻尾、気に入ってくれたみたい。

息づかいが荒くなってるからすぐに分かるわ。

それに……アソコが熱くなってるわね。

全身をさすられるより、やっぱりおちんちんをさわさわされる方が興味ある？

だったら音子、二人の尻尾でおちんちんを包み込んであげましょう。

## 音子

しようがないなあ……わうつ!?

わっ……もうこんなに熱いの？

お風呂でもこんなに熱くはなかったのに……！

すごい……こんなになってるなんて……つ。

## 桔音

そうね、とっても堅い……！

……うふふつ、おちんちんの先端からいやらしい臭いと体液が出てきてる。

## 音子

うん、すごい臭い……！

ねえ桔音……？

このねばねばしたのなに？

この臭い嗅いでると、なんだか変な気分になっちゃう……つ。

## 桔音

これはね、我慢汁って言うの。

男の人がエッチな気分になつたら、おちんちんの先っぽから出てくるのよ。

## 音子

我慢……？

そんなことしなくて良いのに……！

言ってくれたらいつだって、エッチいことしてあげるのに……つ。

んあっ……おちんちんの臭い、強くなってきた……！

こんなに強い臭い嗅いじゃつたらもう……つ。

## 桔音

……ふふつ。

音子ったら、あなたの勃起したおちんちんに発情してるみたいよ？

ほら、分かるでしょ吐息で。

熱い息が、耳にかかるでしょ？

## 音子

はあ……はあ……ね、ねえ。

尻尾で包むだけじゃ、温かくならない……よね？

せっかくだからさ、今度は私の中で温めてあげる……！

君のおちんちんと同じくらい、トロトロになってるから……！

きっとおちんちんズブって差し込んだら、温かくなれるよ……？

## 桔音

あらあら、もう我慢ができなくなったのね。

もう、仕方のない子。

最初は私から欲しかったけど、あきらめるしかなさそうね。

悪いけど、音子は言い始めたら聞かない子なの。

相手になってもらって良いかしら？

……その代わり、好きなだけ気持ち良くなつて良いわ。

これまで我慢した分も含めて……ね？

本能のままに、たくさん気持ち良くなつて。

それじゃあ音子、そのまま四つん這いになりなさい。

## 音子

うん、分かった……はあ、はあ。

○あなたにお尻を向けて四つん這いになる音子

こう……？

こうで良いよね……？

## 桔音

音子はね、後ろから責められるのが大好きなの。

思う存分、その熱くて堅いので突いてあげて？

## 【4 音子】

[S E有：同時絶頂（17：28） S E無：同時絶頂（17：18）]

### 音子

ねえねえ……！

早く来てよお、早くうつ！

おちんちん、入れるところわかんない？

ほら、ここだよここつ。

分かりやすいように広げてあげるから……ほら。

### ○おまんこを広げてみせる音子

んんっ……！

自分で広げても、気持ち良い……！

ここに堅いおちんちん入れてもらったら、もっと気持ち良いんだろうなあ……。

んああっ！

あっ……おまんこからお汁、出ちゃった……！

入れてもらうところ想像しちゃったら、おまんこの奥からトロって出てきたあつ。

### 桔音

ふふつ、音子ったら発情しすぎて我慢できなくなってるみたい。

これだけ大きくなったおちんちんだもの、興奮するのも仕方が無いわ。

……それにしてもこんなに堅くして、よっぽど興奮してるみたいね？

ここに来てから焦らされっぱなしだものね。

ようやく雌の穴に入れられるって思ったら、本能剥き出しになっちゃう？

### 音子

何やってるの、桔音えつ！

もう待ちくたびれちゃうよおつ。

## 桔音

くすくす……そんなにお尻を振ってアピールしなくたって大丈夫よ。

すぐにこのガチガチのおちんちんが入るんだから。

### ○強張る

……あら？

あなた、大丈夫？

もしかして緊張してるんじゃない？

大丈夫よ、焦らなくても。

私が横についていてあげるから……。

落ち着くように、キスしてあげましょうか？

……ほら、こっち向いて……んつ。

……つはあ、ん……、んう、ん……はあ。

ほら、だいぶ落ち着いてきたでしょ……んつ。

んふ、んつ……乳首も触っていてあげましょうね。

んつ、はむ……ん……んつ。

……んん……んふふつ。

乳首触られながらキスされて、おちんちんビクンビクン跳ねてるわよ？

## 音子

もうっ、桔音えっ！

自分だけ愉しんでいないでよおっ！

そんなに焦らされたら私、悲しくって泣いちゃう～っ。

## 桔音

少し焦らしすぎたみたいね。

……だけどあなたも、こうやって焦らすの嫌いじゃないでしょ？

すぐに入れるんじゃなくって、おちんちんの先っぽで音子のおまんこを上下になぞってみて？

○おちんちんをあてがう

### 音子

はつ……あああつ……!?

あつ……おちんちん、来たああ……堅くて熱い……！

あつ、あああつ……！

○おまんこを上下になぞる

んん……ん？ あれ？

え、ど、どうしたの……？

入れて良いよ？ 良いんだよ？

奥まで来て良いのにい……あつ、あああ……あつ！

桔音え……もしかしてまだ焦らしてるのぉつ……？

### 桔音

うふふつ、バレた？

でもそうやって悶える音子、とっても可愛いわよ。

ずーっと見ていたいくらい。

### 音子

そんなことされたら、私の方が持たないよおつ……ん、ふうつ。

先っぽ擦りつけられるだけじゃ物足りないいっ……！

おちんちん早く来てええっ！

### 桔音

……だそうよ？

だけど、もっと焦らしたいわよね？

今度はおまんこの割れ目に沿って、竿を移動させてみて。

腰をゆっくり上下に振りながら……逆素股、ってところかしら？

## ○逆素股で擦りつける

### 音子

ああ一つ!?

あつ……はあ、はあつ。

お、おまんこに入ってないけど……気持ち良い……！

はあつ……おちんちんがコスれて……。

あつ、んんう、うつ。

そこ、おつ、クリトリスぅ……あつ、あああああつ！

はあつ、クリトリスに堅いのがコスれて……良いい……つ。

……気持ち良いよおつ、あつ、は、はああはあああんつ！

### 桔音

あらあら、音子ったらそんなに腰をビクビクさせちゃって……！

もうこれで充分すぎるくらいに気持ち良いでしょ？

おちんちん入れる必要はないかしら？

### 音子

ダメだよ……あつ……。

せっかく、久しぶりのお客さんなんだからあ……つ。

絶対入れてもらうんだからあ……んつ、んんうつ。

### 桔音

それじゃあこうしましょうか、音子？

おちんちん入れてもらうまでにイッたら、そこで終わり。良いわよね？

### 音子

そんなのズるい……んあつ、んつ、んんううつ……！

漏れ出した愛液で、おちんちんヌルヌルつ……！

滑りが良くなつて……あつ、ああ、ああああつ……！

## 桔音

ねえ、もっと悶える音子のこと、見たいでしょ？

今度は自分でおちんちんの根元を持って、真上に振り上げてみて。

音子のクリトリスを刺激するみたいに……分かるでしょ？

やってみて？

○おちんちんを振り上げてクリトリスを弾く

## 音子

ひやあうつ!?

んつ、あつ、はああつ！

んつ、んんんうつ……！

それ……！ 刺激……いつ！ 強すぎい……！

あつ……！ ああつ！ はうつ！

んあつあつあああつ……！

## 桔音

……はい、ストップ。

このままだと本当にこの子、イっちゃうから。

意地悪もこれくらいにしてあげましょうか。

おちんちんの先っぽ、またおまんこにあてがってみて？

○おちんちんをあてがう

## 音子

あああ……か、堅いの、当たって……。

……んんう、うつ。

今度こそ入れて……え？

もう我慢できないから……。

あつ、んああつ！

## 桔音

そのまま腰を前に押し出せばおまんこに差し込めるけど……。

その前に私の話を聞いてくれる？

何度も言っているけど、ここは私たち以外、誰もいない世界。

だからどんなことがあっても、誰にも迷惑がかからないの。

……例えは大きな声を出しても良いの。

男の人は気持ち良くて、声をあまり出さないわよね？

でも、今日は……今だけは、そのことを忘れて。

本能に応じて、好きなだけ声を出して良いから。

獣みたいな声を出しても良いの。

……それに、こんなことができるのには今日だけ。

この世界に足を踏み入れること自体、奇跡に近いんだから。

今夜くらいは、あなたの「獣」の部分をさらけ出しても良いの。

音子のおまんこ、見えるでしょ？

焦らしにじらして、もう愛液でとろとろのどろどろよ。

あの穴で、好きなだけ交尾していいの。

……それじゃあ、始めましょう。

ゆっくり腰を前に押し出して、おまんこにおちんちんを挿入してみて？

## ○挿入する

## 音子

ああーっ!?

あっ、ああああっ……！

おちんちん、入ってきたあ……！

やっと……やっと……！

ずーっと待ってたおちんちんが……。

あっ、あああああっあっ、あっ！

おまんこのお肉をかき分けて、奥にい！

……あっ、はっ、あんんうっ……！

### **桔音**

音子のおまんこはどう？

温かくて柔らかくて、キツキツでしょ。

……そのまま一気に、奥まで突いてみて？

○奥まで突く

### **音子**

ああ一つ!?

あつ……はああつ、あ……！

おちん……ちん、奥まで一気に来たあ……。

はあつ、はあつあつあつ……！

おまんこの中、おちんちんでいっぱい、だよおおつ……！

### **桔音**

音子、苦しい？

動くのはしばらく待ってもらった方が良い？

### **音子**

やだあ……！

もう待つのいやあ……！

たくさん、欲しい……つ。

気持ち良くてよおお……！

### **桔音**

……して欲しいらしいわよ？

それじゃあ音子の腰を掴んで？

○音子の腰を掴む

……うふふ……そう。

そのまま、思い切り激しく突いてあげて？

○激しく突いてピストンする

### 音子

ううあつ!?

はつあつあつあつああーあつ……!?

ああ……はつ、はああああつ、あ、ああああ……！

それ、ダメええ……激しすぎて……はあはつ、あああんうつ!?

### 桔音

あら？ たくさん突いて欲しいって言ったのは音子じゃなかったかしら？

### 音子

たくさん、突いて欲しいけど……あつ、あつ、ああああつ!?

はう、これすごい……！

おまんこの奥に、おちんちんが当たって……はあつ、あつ、ひいええっ！

壊れる……！

おまんこ壊れちゃう……！

壊れちゃうくらい、気持ちひいつ……！

……でも、止めないでえええ……！

気持ち良いから、止めちゃ、やだ……！

あつ、あつ、ああうあ、ああつ……！

### 桔音

こんなに気持ちよさそうな姿見せられたら、意地悪したいわよね？

腰の動き、緩急つけてみて？

○ゆっくりピストンする

## 音子

んんあ、あ、……え!?

ど、どうして急にゆっくり……?

あつ、あつ、ああつ!?

ううああ、ああ、今度はまた速……んつ、んんうつ！

はあ……、またゆっくりに……ふえ、なにこれえ……?

はあ、焦らしちゃ嫌だよ……。

んあつあつああええつ、あつ、あつ、ああつ！

ま、また速く、はつはうんうううう！

こ、こんなのどうすれば良いのぉ……?

速いのもお……はあ……ゆっくり……のも……んんうつ……気持ち良い……！

どつ……ちも……気持ち良くなつて……あつ、あつああつ。

こんなの初めてだから……。

はつ、はつはつはあ、ああ、あああつ！

## 桔音

音子ったら、気持ち良すぎておかしくなっちゃってる。

……でも、おかしくなってるのはあなたも一緒みたいね？

鼻息が荒くて、声も少し出てる気がするけど、私の気のせいいかしら？

ふふふ……それでいいの。

今日のあなたは「獣」なんだから。

気持ち良くなることだけを考えれば良いの。

## 音子

……んんうあつ！

ああつ、あああつあ、あああ！

おまんこ、ヒクヒクしてる……！

気持ち良いいって言ってるみたいで……あああ、はああ、あつ！

今まで、こんなに気持ち良いことなかった……つ。

初めてだよお、あつ、あつ、ああはあつ！

## 桔音

……くすくす。

こんなこと言われたら、もっと気持ち良くしてあげたくなるでしょ？

音子の腰を掴んでる手、片方だけ離せる？

### ○腰を掴む手を片方離す

……そう、それでいいわ。

その手をそのままおまんこに近づけて、クリトリスを指でつまんでみて？

### ○音子のクリトリスをつまみ弄る

## 音子

……ひぎっ!? ひやつ!? んひいつ!?

らめっ……今、敏感なのに……。

あっ、ああっ、ああううっ！

クリ、弄っちゃ……。

あっ、ああっ！ ひやあ、あ……！

ああ、ううううっ、あつあつあつあつ、ああつあ！

……苦しい……！

気持ち良いのっ苦しいよお……。

あ、ああつあつ……ああああんんうつ！！

## 桔音

あら、やりすぎちゃったみたいね。

あなたも腰を振りっぱなしで疲れたでしょ？

休憩がてら、止まりましょうか？

ほら、止まって。

### ○ピストンを止める

## 音子

……つはあ！　……つはあ！　……つはあ！

……えつ？

ど、どうして……？

どうして……ええ？

止まっちゃうの……？

はあ、はあ、はああ……。

## 桔音

だって苦しいって言ってたじゃない。だから止まってくれたんじゃないの。ねえ？

## 音子

そ、そんなあ……。

確かに苦しかった……けど、気持ち良いの終わっちゃうのはいやあ……！

せっかく、久しぶりの交尾なのにいつ……。

もっと……意識飛んじゃうくらいに強く、気持ち良いの欲しいよお……！

## 桔音

……だそうよ？　あなたはどう？

○我慢しているあなたを見つめる桔音

うふふつ、あなたも気持ち良いのが恋しいみたいね。

腰を動かしたくてうずうずしてるんでしょ？

……でもダメよ？　じーっくり焦らして、その後の快感を愉しみましょう。

## 音子

うー……そんなの待てない……！

だっておちんちんをおまんこに入れてもらってるんだよお……？

そんなにもったいないこと……できない……！

## 桔音

……うふふつ、この子ったら自分で腰を前後に振り始めちゃった。

よっぽど交尾が気持ち良いみたいね。

……それとも、あなたのおちんちんが特別なのかしら？

どちらにせよ、あなたも我慢できないみたいね。

音子の腰の動きに合わせて、少しずつ腰が動いてるわ。

### ○恥ずかしそうにするあなたに笑いかける桔音

くすっ。気づいてないとでも思った？

……良いわ、あなたはもう十分に我慢したものね。好きなだけ腰を振って良いわ。

音子もあなた自身も、好きなだけ気持ち良くなれてあげて？

### ○思いきり腰を動かす

## 音子

んあーっ……!? あっ、あっ、あっ、あっはああっ！

激し……さっきより激しつ……あっ、あ、あああ！

でも……良い……！ 気持ち良い……！

奥まで突いてもらって、気持ち良い……！

それにおちんちん、大きいから……つ。

おまんこの中、引っ張り出されてる……つ！

あっあっあっああっ、あっはあはあつああああ！

もう無理い……限界いつ……！

来ちゃう……もう……すぐ一番すごいの、来ちゃううつ……！

## 桔音

イッちゃいそうなのね、音子。

……でも、音子だけじゃないみたいよ？

お客様もそろそろ限界が近いみたい。

## 音子

本当……？ だったら一緒に……あつ、ああああつ！

気持ち良いのは、嬉しいことだから、あつあつ！

二人で一緒に気持ち良くなれたら、もっと嬉しい……！

だから、来てえ……！

私の中に、そのまま出して良いからあ……！

んあつ、あつあつああつ……あつ、あああああつ！

んつ、んんつううつ！

んつ、んんう～～～～～つ！！

## 桔音

イッちゃった？

音子の望み通り、一緒にイケたみたいね、良かった。

遠慮する必要ないわ。全部音子の中に吐き出して良いからね？

## 音子

はあ……熱いの、いっぱい出て……はあつ……んんうつ……！

出される度に、おまんこ気持ち良くなって……はあ、はあ……はあ……！

## 桔音

音子がトロけちゃうくらいに、たくさん出してくれたのね。

ありがとう……全部出たかしら？

ゆっくり引き抜いて、そう……。

○ゆっくりおちんちんを引き抜く

## 音子

……んんつ……。……はああ……つ。

○ぐったりと布団に倒れ込む音子

## 桔音

うふふつ、おちんちんの支えがなくなつて、音子ったら倒れちゃつた。

○あなたの萎えきれていないおちんちんに気付く桔音

……あら？ たくさん出した割にはまだ随分と堅いみたいね。

もしかしてまた物足りなかつた？

……だったら、今度は私がお相手してあげないとね。

音子の隣に並んで横になつてみて？

○音子の隣で仰向けになる

大丈夫、全部私に任せてくれたら良いから。

## 【5 桔音】

[S E有：同時絶頂（18：28） S E無：同時絶頂（18：17）]

### 桔音

まずはおちんちんをもっと元気にしてあげましょうか。

堅いけど、まだ出したばかりだものね。

……大丈夫、あなたはじっとしてくれているだけで良いから。

#### ○あなたのおちんちんに顔を寄せる桔音

ん、 ああ……んむつ、 んん……ん。

……ごくっ……はあつ……。

絞りたて精液の味がする……おいしつ……。

んつ……ん……んふ……んつ……ん、 ん、 ああ……。

あら、 どうしたの？

おちんちん逃げてない？

イッたばかりで敏感だから、 気持ち良すぎるのかしら？

くすっ……でも、 逃がさない……あむつ。

……んああつ……おちんちんの中に残った精液、 出てきた……つ。

ん……んふ、 濃厚でドロドロ……んあつ。

ちょっとしょっぱいのは、 音子の愛液の味が混ざってるからかしら？

んふふつ……んう。

おちんちんの中に残ってる精液、 全部吸い出してあげるからね。

……んん……んう、 ……んつ……ん、 ん、 んつ……ふはあつ！

はあ……はあ……ん、 ごくっ！

うふふつ、 美味しかった。 ごちそう様。

んつ……久しぶりのおちんちん、 やっぱり美味しいわね。

もう少し、 祇めていても良いかしら？

くすっ、 良いわよね？

んつ……んは、 ……んふ、 んんう……んあ……。

## 音子

はあ……はあ……。

桔音、美味しそうにおちんちん舐めあげるね。

たくさん気持ち良くなつたあとだけど……ゴクリ。

見てるだけで美味しそう……つ。

## 桔音

……んあはむ……あむ、んは……。

んん、おいひつ。

んふ、おちんちん、びくびくしてゐる。

ん、ん……んんむ……。

## 音子

あーもうつ！

私もおちんちんペロペロしとけば良かったよー！

## 桔音

んは……ちゅぱつ。

残念ね、音子……。

ん、あむつ……ん、んふ。

特に、ここ……んつ……んあ、根元が美味しいの……つ。

臭いが濃くて……。

ん、んあむつ、もごつ……んあつ。

……ああ、良い……。

あはうつ……んう、んはつ。

ああ、ここ……玉袋の中に、精液が詰まつてゐるよね。

## 音子

桔音、たまたままで舐めちゃうの……？

ああ、さっきあんなに出したのにたっぷり膨らんでるよお……！

## 桔音

くす。ごめんなさいね、音子……いただきます。  
あむ……んぶつ、んん……んう、ん、ふはつ！  
すごい、ふりっぷり……！  
まだたくさん入ってる証拠ね……。  
はむ……ん、んむ、んつ、むつ……んあつ！  
んふつ、パンパン……！  
それにここをちゅぱちゅぱ吸うと、おちんちんビクビクってするわね。  
あむつ……んぱつ、んん……ん、あむつ……んう、んぱつ。  
つはあ、うふつ……。  
おちんちんすごく堅くなった……！  
このガチガチに勃起したおちんちん、おまんこに入れたら気持ち良いんでしょうね……。

## 音子

……そろそろ入れたいみたいだよ？  
桔音ってば知ってる通り虐めるのが大好きなんだ。  
……でもねここだけの話、虐められるのも好きなんだよ。  
虐めてみたいと思わない？  
こんなに強気そうな桔音が、快樂に墜ちるところ……見たいでしょ？  
私が協力するから、二人で虐めてみない？  
さっき虐められたから、その仕返しがしたいんだ。  
例えば……このまま桔音の口に出すだけで終わり、なんてどう？  
きっとね、桔音もおまんこに出て欲しいと思うんだ。  
だからその期待を裏切ってあげようよ。ね？

## 桔音

んつ、ん、う……！  
音子、んん……さっきから全部聞こえてるわよ。  
んんん……いたずらを企んでいたみたいだけど、おあいにく様。  
射精するかどうかなんて、おちんちんの様子を見てれば分かるのよ。

## 音子

……ううつ。

バレた、さすがは桔音。地獄耳。

## 桔音

……他の悪巧みをされる前に、入れちゃおうかしら。

またがらせてもらうわよ？

### ○騎乗位の姿勢であなたに跨る桔音

……んつ。

ん、んしょっと……。

うふふつ、亀頭が爆発しそうなくらいに膨らんでる。

早くおまんこに入れて欲しくて仕方がない、ってことかしら？

……こういうの見ちゃうと、焦らしたくなっちゃうのよねえ。

おまんこの中を味わう前に、まずは亀頭に意地悪してあげる。

### ○ゆっくりと亀頭におまんこを擦りつける桔音

んつ……んん、ん、うつ……。

割れ目にコスれて、あつ……気持ち良いっ……ん……。

## 音子

あーあ、結局桔音の主導になっちゃうんだよねえ。

……でも、まだ機会はあるからね？ じっくりその時を待とう？

## 桔音

んつ……んあつ……あつ……くすつ。

だから音子？ 全部聞こえてるのよ？

音子は内緒話がへたくそね……。

んつ、んん、あああ……うつ……うう……んつ……。

だけど、あなたのおちんちん、さっき出したばっかりだとは思えないわね……！

あつ……あ、堅くて、熱くて……。

んあつ……ほら分かる？

おまんこから愛液、トロトロ～って流れてきてるでしょ？

### ○擦り合う部分をまじまじと見つめる音子

#### 音子

……わあ。

我慢汁も出てるけど、それ以上に桔音の愛液がすごい……！

桔音も相当スケベだからね。

久しぶりのおちんちんに、興奮してるんだよ。

#### 桔音

……だから音子、聞こえてるから。

あつ、んんうつ……ああつ、あつ！

でも、んつ……おちんちんに興奮しているのは本当……うあつ。

ヨダレ垂らしてるみたいに、愛液止まらない……！

ん……んんつ……！

このまま素股みたいに、おちんちん挟み込んであげましょうか？

んつ……ほら……。

んつ、はああつ、ん、んつ。

はあつ、んんうつ……んつ。

クリに当たって、はああ……良い……つ……はあつ。

#### 音子

だいぶ鼻息荒くなってきたねー？ 気持ち良い？

でも、やっぱりおまんこに入れさせて欲しいよね？

桔音、焦らすのも良いけどこれじゃあお客様が可哀想だよー。

## 桔音

んあつ……はつ……くすくす、 そうかしら？  
まあ、 それもそうね……んつ。  
それじゃあそろそろ、 私の中で可愛がってあげる。

### ○おまんこにあてがう桔音

んつ！ はあ……堅い……！  
おまんこもおちんちんもトロトロに濡れてるから、 腰を下ろすだけで入りそう。  
……ん、 はあ……つ……下ろすわよ？

### ○ゆっくり挿入する桔音

んつ……あつ、 あつ……ああつ！  
んんうつ……！  
はあつ……はあ……。

## 音子

ねえねえ、 やられっぱなしは嫌でしょ？  
ちょっと腰、 引いてみて？  
おまんこの奥までおちんちんが入りきらないから、 桔音ももどかしいと思うよ？

### ○腰を引く

## 桔音

んつ！  
は、 あつ……あつ、 ああつ、 ん、 んう……はあ……。  
入った……入った……？  
思っていたより浅い……んふふつ？  
もしかして音子、 何か入れ知恵した？

## 音子

うふふつ、バレちゃった？  
今まで散々意地悪してきたお返しだよ、桔音。  
たまには焦らされちゃいなよっ。

## 桔音

私は別に焦らされても……ああつ、あ、んつ。  
あら……？ 何かしら、これ……？  
んつ……焦らされて悦ぶ趣味なんかないはずなのに……。  
……はああああつ、はあ、んつ。  
もどかしくて……はあ、はあ……。  
だけどそれが良い……つ。  
……はあ……ああつ。

## 音子

ほらね？ 桔音もやっぱり焦らされるのが好きなんだよ。  
そのまましばらく、奥まで入れてあげるのはお預けにしてあげて？

## 桔音

ん……そうはいかないわよ、音子？  
……ね？ あなたもそうでしょ……んつ。  
せっかくおまんこにおちんちん入れたんだから、奥まで差し込みたいわよね？  
んつ……私のおまんこの一番奥の奥……。  
根元までそのぶつといでの犯したいでしょ？  
くす……良いのよ、本能に従って……。  
私も、雌の本能がうずくの。  
あなたの立派なおちんちんで突いて欲しいって……。  
だからほら、おいで？  
おまんこで気持ち良くしてあげるから。  
ほら……？

## 音子

……そろそろ良いよね。

勢いよく腰を上げて、桔音を突き上げて！ ほら！

○勢いよく突き上げる

## 桔音

なつ……あつ、んんうつ!?

あつ、はあ、はあつ、あう。

……そんな、いきなり来るなんて……う、うううつ！

はあはあはつ、んんつ……はあつ、んあつ、んんつ、んんんうつ！

はあつ……ん、あつあつああつ……んん、あ…つ！

## 音子

良い感じだよ。

ほら見て？ 桔音ってば、相当感じてるみたいだよ。

私の言うとおりにすれば、もっと桔音のいやらしい姿見られるからね。

## 桔音

なつ……はつ……あつ、んつ、んう！

……んつ、ふうふうう、うつ。

音子、んんつ……何を勝手なことを……。

ん、んつ……は、ああつ、はあ……んうつ！！

## 音子

良い感じみたいだよ、うふふつ。

桔音も感じて、腰動かしちゃってるね。

その動きに合わせて、腰を突き上げてみて？

○桔音の動きに合わせて突き上げる

## 桔音

はつ!? ……はああつんうつ……！

は、はあはあつ、奥……おちんちんの先っぽ、突かれて……！

あつあつんうつ、はあはああ……ふ、深いいつ……！

はつ、はつ、はつ、はあつ、深くまで来て……。

はつ、あつ、んんうつ、ふつ、ふあ、あつああああつ！！

## 音子

良いね良いね～。

こんなに乱れた桔音を見るのなんて、初めてかも。

もっと腰を高く突き上げてみて？

○更に高く突き上げる

## 桔音

あつ、はつ、はつ、あんうう、はうん、んつ……！

ちょっと、音子……はあ……やり過ぎよ……あつ、ああ、ああつ……！

はあはあ……こ、こんなに突いちゃ……。

あ、あ、あ、ああつ、ああつ、はあつはつ。

おお……おかしく……なつちやう……！

んんうんつ、あつはつ、はあつ、あああつ！！

## 音子

ふふつ。

おかしくなった桔音も見てみたいけど、そこまで言うんなら……。

……！

だったらさ、今度は桔音が腰を上下させるのに合わせて腰を動かしてみたら。

たっくさん動いても、おちんちんはあんまりおまんこの中でコスれない……。

……そうなつたらさ、桔音はどういう反応するのかな？

試してみない？

## ○桔音の動く通りに腰を動かす

### 桔音

んつうつ、ん……つ？ はあ……？

はあ……な、ああ……あ、どうして……？

……はあ……こんなに腰動かしてるので……ん、ん、えつ？

はあ、私の動きに合わせて、腰動かしてるので……？

ん、もうっ！ そんなことしたら、おちんちんがコスれないじゃない……！

んうつ……んんつ、ふう、んふうつ……！

### 音子

くふふふつ……ふふふつ……あはははつ……うふふつ。

いつも桔音に意地悪されてばっかりだから、たまには仕返しするのも良いね。

それじゃあそろそろ、気持ち良くさせてあげよう？

思いっきり腰を引いて、奥までおちんちんを突き立ててあげて？

## ○深いストロークで突き上げる

### 桔音

んんつ！ はあつ！ んああつ！ はあはあはあはつ！

今度はまた、深いの来た……はあつ！ んう、んああああつ！

はあはあ、もう……んあつ、意地悪ばっかり……！

んんつ！ はつ！ あううんつ、はあつはあつはあつ……。

でも……でも、良い……！

はあ……んんつ、はあつ……。

焦らされて、激しくされて……ん、あ、あ……気持ち良い……つ。

はつ、はつはあつん、んうふう！

カリが……はあはあ……お、おまんこの中を引っ張り出すみたいで……んんうつ！

はあ、はつ、はつ……音子の前なのに……ん、ああ、ああつ……感じちゃう……！

ふつ、ふつ、んんうう！

……はあ、はつ、はつ、はつ、はあ……。  
はつ、はつ、はああつ、うううん……はあ、ああ、うう、んん、ふうつ！  
はあはあ……せ、せっかくのお客さんなのに……あつ……んあつ。  
あつ、はつ、はつ……私はつかり気持ち良くなつちゃうなんて……！  
はあつ！ んつ……ふううつ……はあはあ。  
音子……ん……はつ、はつ。  
お客様のこと……はあはあ……もっと気持ち良くしてあげて……？  
……つう、はああつ！

## 音子

うん、分かったよ。  
私もさつきたくさん気持ち良くしてもらったからね。  
それじゃあ……精液がパンパンに詰まった玉々、優しく触ってあげる。  
撫でるみたいにゆっくり、そ～っと……。

## ○玉々に優しく触れる音子

## 桔音

んああつ……!?  
はつ、はつ、はつ、はああ……おちんちん、また堅くなつて……んあああつ!?  
だ、めえ……あつ、ん、んああつ、はつ、はあつ、んんううつ……！  
ふう、ふう……腰、止まらない……はう、はつ、はあつ！  
……気持ち良すぎて止まらな、あつ、あ、あ、あつ、ああんううつ！

## 音子

こんなに狂つたみたいに腰を振る桔音、初めて見たよ。  
それに……あははつ。  
もう床まで桔音の愛液でびしょびしょだよ。  
桔音、そろそろイきたいんじゃない？

## 桔音

あはあつ、はあ、はあああつ……イきたい……！  
はあ、はつ、はつ……もう我慢できないつ……はあ、あ……。  
……ねえ、イって……？ あなたもイきたいでしょ？  
はあ、はあつ、おまんこの中でどぴゅどぴゅって……。  
んん……んんううつ……はあつ、はつ……。  
言わなくても分かる……だってこんなにおちんちん、ガチガチになってるから……！

## 音子

さっき私の中で出したけど、まだ足りないでしょ？  
良いんだよ、玉々が枯れるまで射精しても。  
桔音が全部受け入れてくれるから。  
……ほら、出して？  
おまんこの一番奥深い場所で、さあ早く……！

## 桔音

あつ、んつ、ああんんうつ……！  
はつ、はあつ……ああつ！  
来る……気持ち良いの来る……！  
ああつ……は、ああつ……はつ！  
あつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ！  
ああつ、はあつううつ……！  
**んんうう～～～～つ！！**  
あああ……はあ……ああつ……はあああ、はあ……あああ……はあ……。  
……熱い……はあ……はあ。  
火傷しそうな程熱いの、出てる……！  
あはあ、あ……びゅくびゅく、って……。  
んつ、ん、んううつ……。  
はあ……んは……はあ……はあつ……んつ。  
……はあつ……ああ……はあ……あ……。

## 音子

あーあ、桔音もお客様もぐったりだね。

見てるだけだったけど……意地悪するのってやっぱり楽しいなあ、あははつ。

## 【6 川の字でおやすみなさい】

### 音子

あー、楽しかったねー。  
まだし足りないくらいだけど……もう限界だよね？  
それじゃあちゅーで許してあげるよ。  
んんっ……！  
ん……んはあ……んっ……。

### 桔音

また音子ったら抜け駆けして……。  
ほら、こっち向いて舌を出して？

#### ○桔音の方を向き、舌を出す

あ……あむ、ん……。  
んふ、んっ……んは……んつ、んふつ……ふはあつ……。  
……私たち二人のおまんこはどうだった？  
気持ち良かったでしょ？

### 音子

明日の朝にはちゃんと帰してあげるからね。  
だから今夜はゆっくり眠って？  
ほら、ぎゅーって抱きしめてあげるから。

#### ○あなたを抱きしめる音子

### 桔音

それじゃあ私は……。

## ○あなたの頭を撫でる桔音

あなたが眠るまで、こうやって頭を撫でていてあげる。

目を閉じて……。

## ○うとうとする

……うふふつ、すぐにでも眠ってしまいそうね。

あれだけたくさん出したから仕方ないのかしら。

## ○眠りにつく

### 音子

……もう寝息立ててる？

うふふつ、可愛い寝顔だなー。

よっぽど疲れてたんだろうね。

### 桔音

一気に私たち二人を相手にしてくれたものね。

激しくて、情熱的で……。

私も今日はよく眠れそう。

……だけど気持ち良かったわね。

今まで一番良かったかもしれないわ。

### 音子

私も！ えへへつ、このお客様気に入っちゃった。

でも明日の朝には帰っちゃうんだよね？

なんだかさみしいなー。

……でも、桔音？

久しぶりのお客さん、楽しかったね。

### **桔音**

ええ、そうね。

もう二度と会うことはないけど……。

目が覚めたら、夢だったのかも、って思うかも知れないわね。

まあ、それでも良いわ。

今この瞬間は幸せなんだから。

### **音子**

ふわ～……私も眠くなってきちゃった。

寝るね、桔音。

おやすみ～。

### **桔音**

……おやすみ、音子。

良い夢を見てね……。

○あなたへ優しく口付けをする桔音。皆で深い眠りにおちていく。